



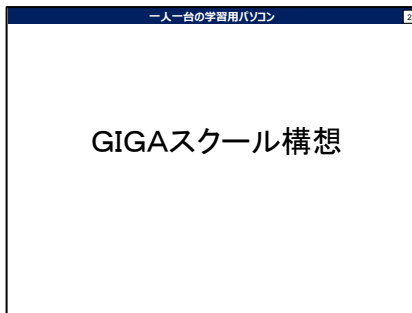
令和3年 1学期 終業式

令和3年度 1学期終業式

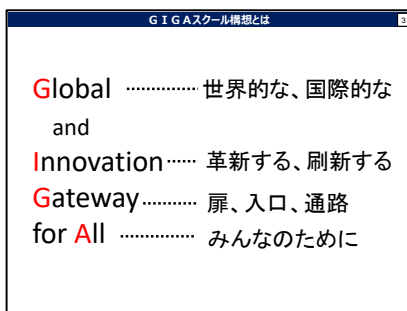
校長 下村 昌弘

東原席舎中央校 校長 下村昌弘

- 全校の皆さん、おはようございます。校長の下村昌弘です。今日で1学期が終わります。みなさん、1学期を振り返ってみてどうですか。思い出に残ることは何でしょうか。頑張ったことは何でしょうか。
- 1学期は新型コロナウイルス感染症の状況が5月の連休前後に一時とても深刻な状況になりましたが、体調の管理やマスクの着用、手指の消毒、換気などをきちんとしてくれたおかげで、多くの行事や授業を従来の形で進めることができました。皆さんの頑張りに感謝します。ありがとう。
- そんな中、皆さんにとっていちばん目新しかったことは学習用パソコンを手にしたことかもしれません。
- これは国の「GIGAスクール構想」という取組によって、一人一台のパソコンが整備されたわけなのですが、「GIGA」って何のことか知っていますか。



- 「ギガ」自体は「ギガバイト」とか言いますよね、高速大容量の通信ネットワークを表す言葉で、恐らくこの意味も踏まえているのですが、「G・I・G・A」はある言葉の頭文字をとった略語なのです。

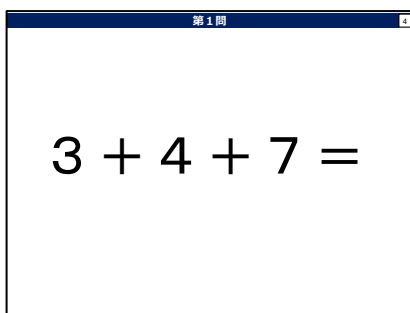


- それは「Global and Innovation Gateway for All」です。Global (グローバル) は「世界的な、国際的な」という意味ですね。Innovation (イノベーション) は「革新すること、つまり、新しいものを生み出していくこと」という意味です。Gateway (ゲートウェイ) は「入口、扉」、for All (フォーオール) は「全ての人々のために」という意味です。

- 全部まとめていうと、「全世界とイノベーションへの扉をすべての子どもたち

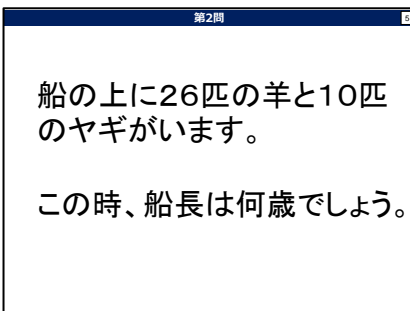
へ」というメッセージがそこには込められています。

- 皆さんには、これからどんどん世界に飛び出して生きていってほしい、どんどん新しいことを生み出していってほしい、そんな願いが込められているのです。
- そして、そのためには情報を活用する力を鍛えないといけない、それにはこれからの時代、パソコンは不可欠だというわけです。
- ですからみなさんには、どんどんパソコンを使ってほしいと思います。ただ、1つ注文を付けると「自分の頭でしっかり考えながら」ということです。
- そのことを理解していただくために、皆さんに解いてほしい問題を3つ準備しました。今から出す問題にできるだけ早く答えてくださいね。口に出さなくてもいいです。心の中でつぶやいてください。



○ では第1問。 $3 + 4 + 7 = ?$

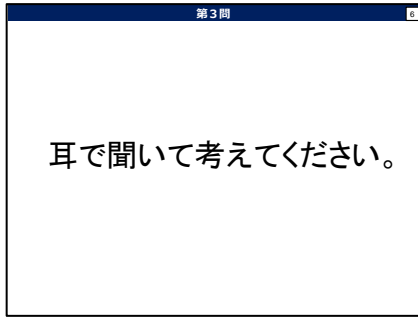
○ 第2問。船の問題。ある船に一人の船長が乗っています。この船には26匹の羊と10匹のヤギも乗っていました。さて、この時、船長は何歳でしょう？



○ どうですか。わかりましたか？ ずっと昔、フランスのある研究者がこの問題を低学年の小学生に出したそうです。その時、たくさんの人が「答えは36」と答えたそうです。

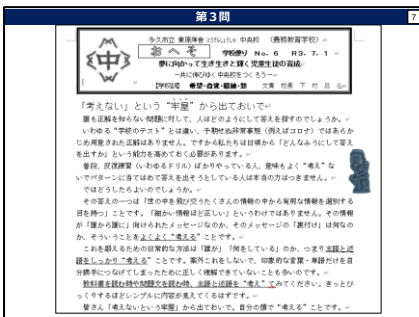
○ もちろん、船の上に動物が何匹いようが、船長の年齢とは関係ありませんよね。つまり、解けるはずのない、無意味な問題なのですが、人は反射的に文章の中に出てきた数字を適当に足したり引いたりして、それらしい答えを出そうとするものです。

- 笑い話みたいな話ですが、上級生の皆さんも案外、これに近いことをやってしまっているのではないのでしょうか。例えば、図形の問題で角度を出しなさいなどという場合など、適当に条件に出してある角度を足したり引いたり、組み合わせでそれらしい数字を出そうとしていることってないのでしょうか。



○ では最後の問題です。バスの問題です。耳で聞いて考えてください。初めの停留所で8人が乗りました。次の停留所で3人が乗りました。次に4人が降りて2人が乗りました。その次で5人が降りて5人が乗ってきました。さて、停留所は全部でいくつあったでしょう。

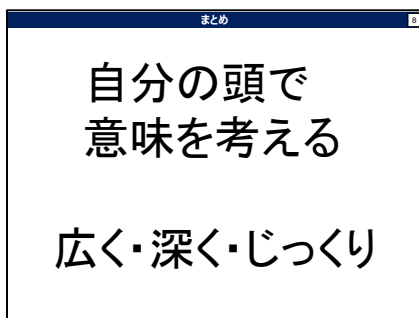
- 「あ～、ずる～い」という言葉が聞こえてきそうです。意地悪な問題を出してごめんなさい。クイズみたいな問題でした。
- つまり、私が何を言いたいか、みなさんなら分かってくれると思います。
- そうです、「自分の頭で問題の意味をよく考えなさい」ということです。目の前にあるものをよく考えもしないで、目についた数字や単語にぱっと飛びついて、適当に組み合わせて答えを出す、解釈をしようとする、なんてことを決してしてはいけないということです。



○ 7月1日の学校通信の「おへそ」で書きました。「考えない牢屋から出てきなさい」と。

○ 皆さんには考える力があります。これを夏休みに鍛えてほしいと思っています。反復練習、ドリルを使った学習ももちろん必要ですが、そればかりやっ

る、あるいはそれしかやらないとさっきのような問題に引っかかってしまいます。



○ 夏休みは普段と違って考える時間がたくさんあります。広く、深く、じっくりと。今日まで時間に追われる毎日だったと思います。これから一か月ちょっと。時間が皆さん一人ひとりに帰ってきます。自分の時間をたっぷり愉しんでください。そのためにも自分の頭でしっかり考えてほしいと思います。

- 8月25日には、日焼けをしてちょっとたくましくなった、そして何か考えることを愉しんだというきりっとした笑顔で、また校門前であいさつを交わしたいと思います。
- ではみなさん、いい夏休みを。